

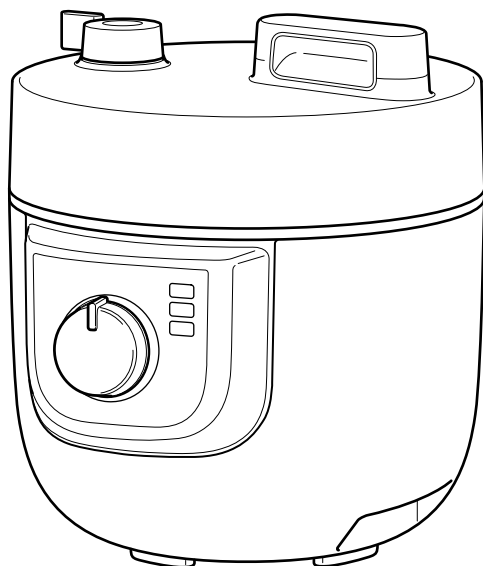
siroca

電気圧力鍋

SP-A111

取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca 電気圧力鍋 SP-A111 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、必ず保管してお使いください。

圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 2

使用上のお願い 5

調理上のご注意 5

調理時間の目安 6

各部のなまえ 7

使いかた

ご使用の前に 9

調理の準備 12

圧力調理のしかた 14

ご愛用の手引き

お手入れ 18

故障かなと思ったら 20

仕様 22

部品・消耗品 22

アフターサービス 23

お客様相談窓口 23



保証書 24

安全上のご注意








必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

					禁止（してはいけない内容）を示します。
					強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告



分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



接触禁止

使用中、使用直後は圧力表示ピンや圧力切替弁に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

本体のすき間、開口部にピンや針金などの金属物を入れない
本体内部に入り、ショート・故障・けがの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因になります。



禁止

圧力切替弁、ノズル、圧力表示ピンなどが目詰まりしている場合は使用しない
やけど・けがの原因になります。



調理中は、無理にふたを開けない。移動させない
蒸気や調理物が噴出し、やけど・けがの原因になります。



パッキンなどの付属品は必ず取りつけて使用する
故障・やけど・けがの原因になります。また、傷んだパッキンは使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する
製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない

など
上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

調理以外の用途では使用しない
故障・やけど・けがの原因になります。



禁止

レトルトパックなどを入れて調理しない
故障・発火の原因になります。



禁止

屋外で使用しない
故障の原因になります。

警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない
感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

電源プラグに蒸気を当てない
ショート・発火の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む

など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
やけど・感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグをを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない
転倒や落下によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂、スライド式テーブルの上 など



禁止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない
変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない
ショート・感電・故障の原因になります。



禁止

直射日光の当たるところでは使用しない
変色の原因になります。



電源コードは必ず付属のものを使用する
故障・発火の原因になります。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない
高温のため、やけどの原因になります。必ずミトンやぬれふきんを使用してください。



禁止

ノズルや取っ手にガタつきがある場合は使用しない
けがの原因になります。



ふたを確実に閉める
圧力調理や本体を移動するときに、ふたの取り付けが不十分だと、調理物の熱い蒸気に触れたり調理物をこぼしたりして、やけど・けがの原因になります。

⚠ 注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



ふたの取っ手を持って移動しない
落下によるけが・故障の原因になります。本体を移動する際は、本体の底を両手で持って移動してください。



多量の油・重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない
やけど・故障の原因になります。



空だきをしない
変形・変色の原因になります。



市販のタイマー機器を接続して使用しない
故障の原因となります。



お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



付属品を電子レンジ・オープン・オープンレンジなどで使用しない
破損・変形の原因になります。



金属製のへらなどは使用しない。内なべで米を研がない。洗いおけ代わりに使用しない
内なべに傷が付く原因になります。



内ふたとパッキンを取りつけないまま使用しない
故障の原因になります。



ふたを開ける場合は、圧力表示ピンが下がった後、圧力切替弁を回して蒸気を完全に排出してから開ける
やけど・けがの原因になります。



内なべを直火にかけない
変形・変色の原因になります。



内なべを落としたり、変形させたりしない
故障の原因になります。



パッキンなどは付属品以外のものを使用しない
破損・故障の原因になります。



調理量の最大量と最小量を必ず守る
やけど・けがの原因になります。

使用上のお願い



※ 圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

設置について

- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しない。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにする。(故障の原因)

調理前のご注意

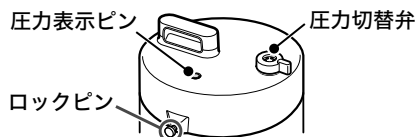
- ふたのノズルが詰まっていないことを確認してから使用する。(けが・やけどの原因)
⇒ ノズルの確認方法については、10ページの「ふたの組み立てと確認」を参照してください。
- 調理前に、本体にしっかりと付属品が取り付けられていること、本体と内なべの間にガタつきがないことを確認する。(故障の原因)
- 内なべや本体内部、内ふたなどに、食品かすなどの異物を付けたまま使用しない。(故障の原因)
⇒ 異物の取り除きかたは、18～19ページの「お手入れ」を参照してください。
- 内なべと本体の間に水を入れない。(故障の原因)

調理中・調理後のご注意

- 調理中や調理の直後は、振動などで蒸気が噴き出すおそれがあるため移動させない。(けが・やけどの原因)
- 調理後は、内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けない。(けが・やけどの原因)
- 調理中、本体にふきんなどをかけたままにしない。(変色・変形の原因)



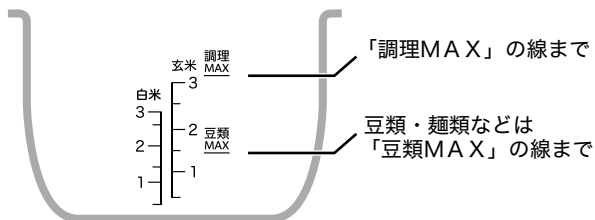
※ 調理中・調理の直後は高温になるため、ぜったいに、ふたには触らない。とくに、圧力表示ピンや圧力切替弁、ロックピンに触ったり、手や顔を近づけない。(やけどの原因)



調理上のご注意

調理量について

- 内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わない。(けが・やけどの原因)
- 豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れない。(けが・やけどの原因)



調理禁止の食材について

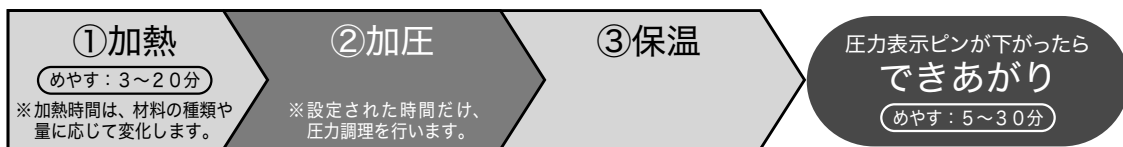
- カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて圧力調理しない。(ノズルが詰まり、けが・やけど、故障の原因)
- 重曹など発泡するものや、多量の油を入れて調理しない。(けが・やけどの原因)
- おかゆを調理する場合、青野菜などの具は圧力調理後に入れる。(故障の原因)

内なべを長くお使いいただくために

- 内なべのコーティングを傷つけないため、お守りください。
- 内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしない。
- かたい食材を調理する際は、内なべの内面に食材を押しつけたり、強くかき混ぜたりしない。
- 金属製のヘラやおたまなどは使用しない。

調理時間の目安

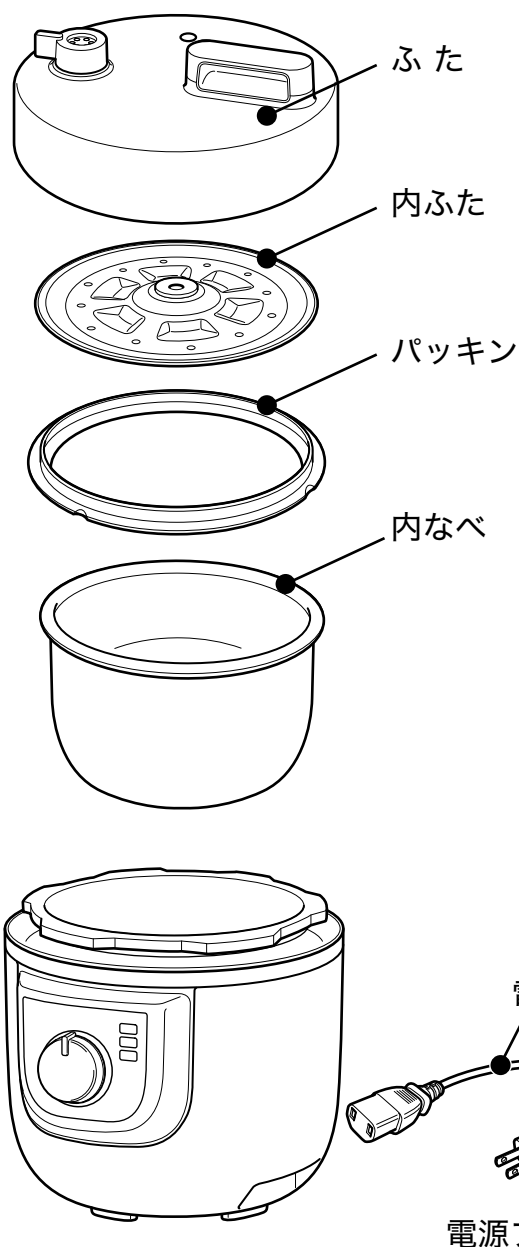
圧力調理では「加熱」「加圧」「保温」の3つの工程で調理を行います。



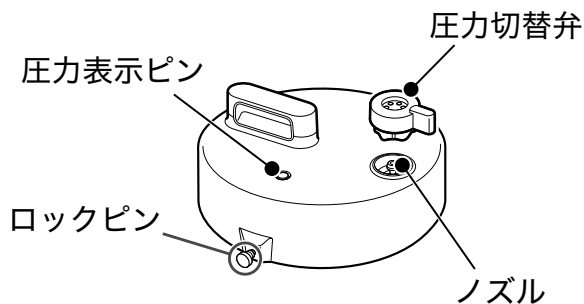
- ①加熱：調理を開始すると、本体内部を一定の圧力に上げるために加熱を行います。
※ 加熱時間の目安は、3分～20分です。ただし、材料の種類や量に応じて変化します。
- ②加圧：本体内部が一定の圧力に達し、維持されている状態を加圧状態といいます。
加圧時間は、1分単位で最大30分まで設定することができます。加圧時間の設定は、付属のレシピブックを参考にしてください。また、材料の種類・量・大きさに応じて、加圧時間は調節してください。
- ③保温：圧力調理が終了すると、減圧されていきます。
また、本体の保温効果により、調理後しばらくは、調理物の余熱であたたかい状態を保ちます。
※ 圧力調理後は、圧力表示ピンが下がってからふたを開けてください。圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5～25分です。
※ 保温効果は、材料の種類や量、使用環境に応じて変化します。

各部のなまえ

正面

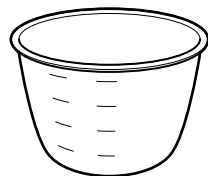


背面

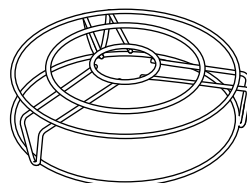


付属品

計量カップ



蒸し台



内ふた用パッキン (予備)



レシピブック



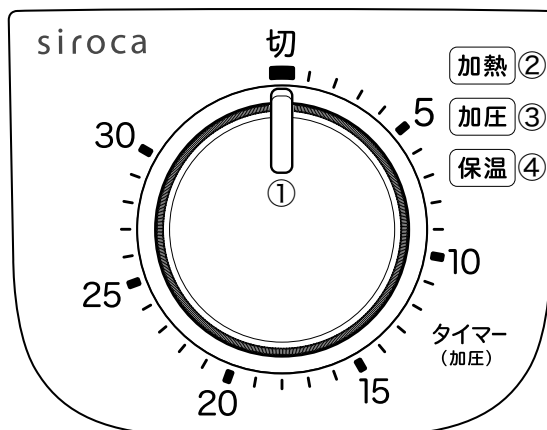
※ 付属の蒸し台は、プリンや茶碗蒸しなどの蒸し料理に使用します。水を入れた内なべに蒸し台をセットし、蒸し台の上に調理物をのせてください。(調理方法について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。)

※ 蒸し台を使用する際は、必ず内なべに水を入れてください。空だきはしないでください。

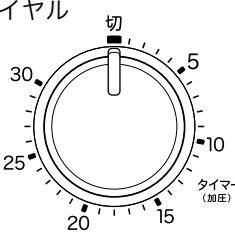
※ 蒸し台は、イラストの向きで置いてください。(リングが3重になっている面が上です。)

各部のなまえ

操作パネル



各部のなまえ

ボタン	機能説明
① タイマーダイヤル 	<ul style="list-style-type: none">● 圧力調理をスタートするときには回します。 1分単位で、最大30分まで加圧時間を設定できます。● 圧力調理を中止する場合は、タイマーダイヤルを反時計回りに回して、「切」の位置に戻します。
② 加熱ランプ 加熱	<ul style="list-style-type: none">● 本体内部を一定の圧力に上げるために加熱している間、点灯します。
③ 加圧ランプ 加圧	<ul style="list-style-type: none">● 本体内部が一定の圧力に達し、加圧状態になると点灯します。 <p>※ 本体内部を一定の圧力に維持するため、圧力調理中は、加熱と加圧の状態を交互にくり返します。そのため、加熱ランプと加圧ランプが交互に点灯します。</p>
④ 保温ランプ 保温	<ul style="list-style-type: none">● 圧力調理が終了すると、点灯します。● 内なべの温度が60℃以下になると、消灯します。

ご使用前に

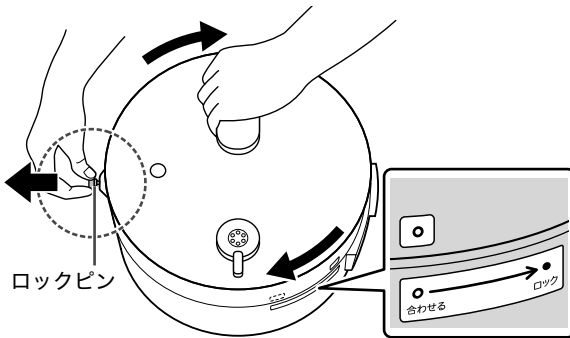
本製品をはじめとお使いになる場合、またはしばらくお使用になっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。18～19ページの「お手入れ」を参照して各部を洗浄してからお使いください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。

ふたの開けかた、閉めかた

開けかた

ロックピンを引っ張りながら、時計回りに、ふたの●マークと本体側面の●マークが合う位置まで回します。

※ 調理後にふたを開ける場合は、ふたの高温部（ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、必ずミトンを使用してください。

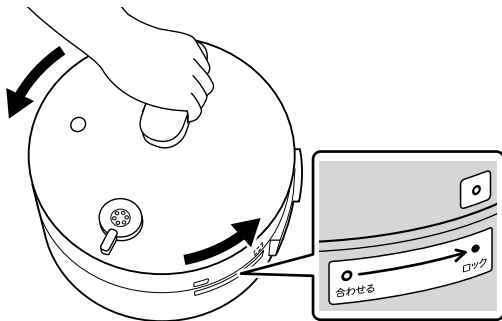


閉めかた

本体側面の●マークとふたの●マークの位置を合わせてふたをはめ込み、反時計回りに、本体側面の●マークの位置まで回します。

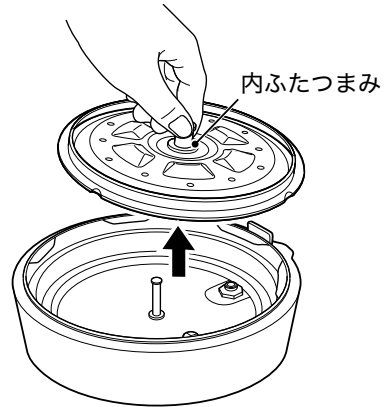
※ ●マークと●マークの位置は、本体およびふた側面のラベル（下図）で確認してください。

※ “カチャ”と音がし、ロックピンが出て戻るのを確認してください。

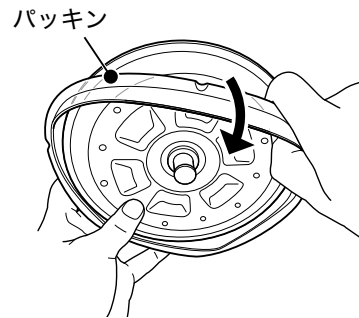


ふたの分解

- ① 中央部の内ふたつまみを持って、ふたから内ふたを取りはずします。

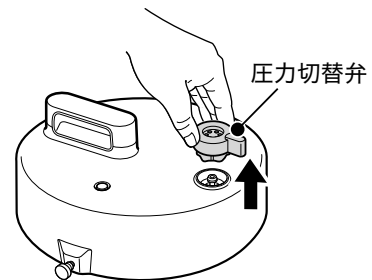


- ② 内ふたの周囲にあるパッキンを取りはずします。



- ③ 圧力切替弁をふたから引き抜きます。

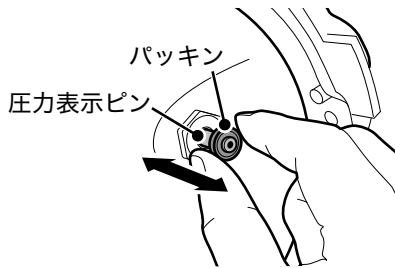
※ 引き抜きにくいときは、ふたを押さえながら圧力切替弁を引き抜いてください。



ふたの組み立てと確認

① 圧力表示ピンが動くか確認します。

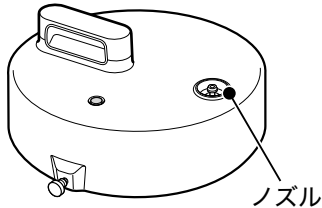
※ ふたの内側から、圧力表示ピンをつまんで上下に動くことを確認してください。確認時、圧力表示ピンのパッキンに無理な力を加えないように注意してください。



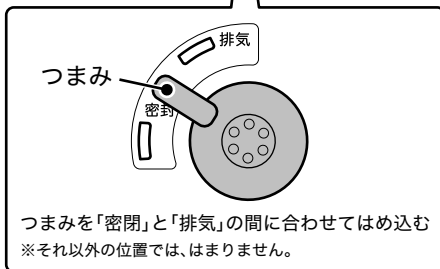
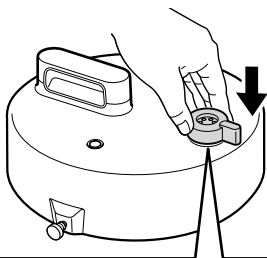
※ お手入れなどで圧力表示ピンのパッキンを取りはずした場合は、必ず取りつけてください。

② 圧力切替弁をふたにはめ込みます。

※ はじめに、つまようじなどをノズルに差し込み、ノズルが詰まっていないことを確認してください。ノズルが詰まっていると圧力調整ができず、蒸気や調理物が噴出して、けが、やけどの原因になります。



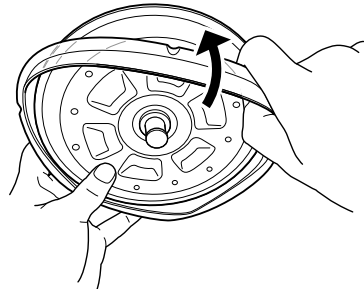
※ 圧力切替弁を強く押しはめ込んでください。



※ 圧力切替弁をはめ込んだ後、軽く引っ張って、圧力切替弁が抜けないことを確認してください。

③ 内ふたの周囲にパッキンを取りつけます。

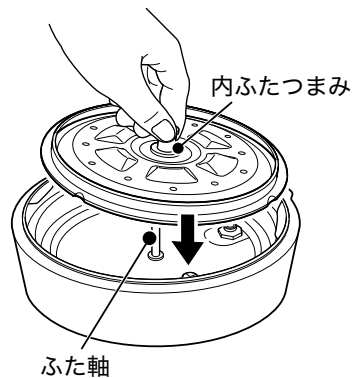
※ パッキンはしっかりとはめ込んでください。



④ 内ふたをふたにしっかりと取りつけます。

※ 内ふたつまみが外側になるように取りつけてください。

※ 内ふたつまみにふた軸をしっかりと差し込みます。その後、内ふたが落ちないことを確認してください。

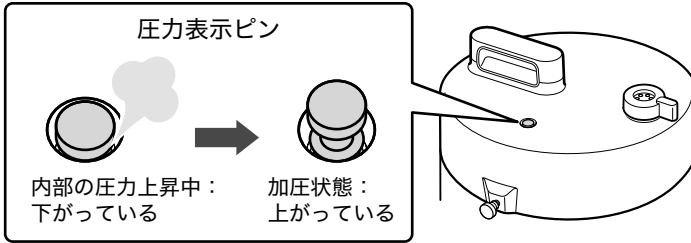


※ 部品のつけ忘れにご注意ください。

- 内ふたやパッキンをつけ忘れると、機器の内部に蒸気が入り込み、故障の原因になります。
- 圧力切替弁や圧力表示ピンをつけ忘れると、圧力がかからず調理ができない原因になります。

圧力表示ピンについて

調理開始後、内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。



※ 圧力表示ピンの位置から噴出される蒸気に注意してください。やけどの原因になります。

圧力切替弁について

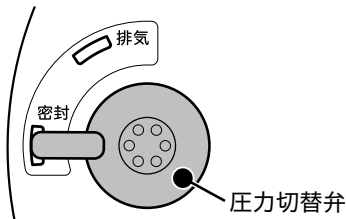
圧力切替弁には「密封」と「排気」の2つの機能があります。



※ 調理中や調理の直後は、圧力切替弁には触れないでください。けが、やけどの原因になります。

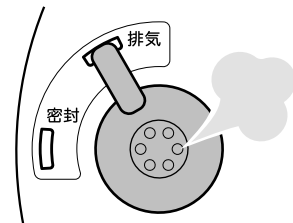
密封

内部の圧力を一定に保ちます。
調理開始時には必ず「密封」の位置に合わせます。



排気

圧力表示ピンが下がった後、完全に圧力を抜く場合は、圧力切替弁を「排気」の位置に合わせます。



※ 調理中や調理の直後は、圧力表示ピンが下がるまでは、絶対に圧力切替弁を「排気」にしないでください。高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

調理の準備

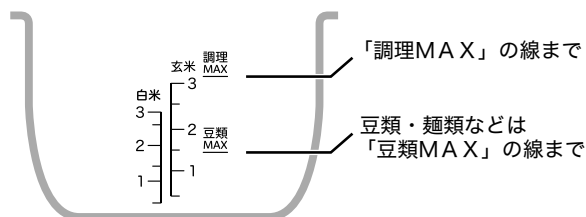
1 材料を内なべに入れる

- 材料の下準備について、詳細は付属のレシピブックをご覧ください。
- 調味料の溶け残りを防ぐため、調味料はあらかじめ混ぜ合わせてから入れてください。



※ 内なべのコーティングを傷つけないため、内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしないでください。

※ 内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。
豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。やけど・けがの原因になります。



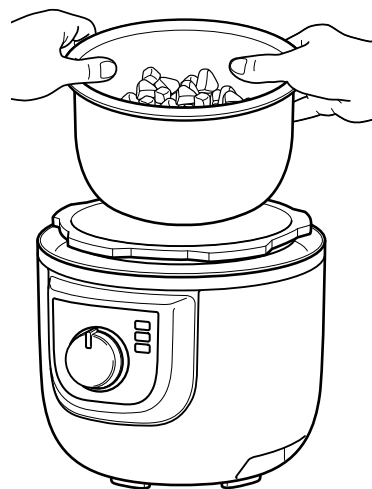
※ カレーやシチューのルー、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて圧力調理しないでください。圧力調理中に、ノズルにルーなどが詰まり、圧力調整ができなくなる可能性があります。カレーやシチューの調理方法については、付属のレシピブックに従ってください。

2 内なべを本体にセットする



※ 内なべが傾いていないか、本体と内なべの間に食品かすなどの異物が挟まっていないか必ず確認してください。

※ 内なべ外側の水気を拭き取ってから、セットしてください。

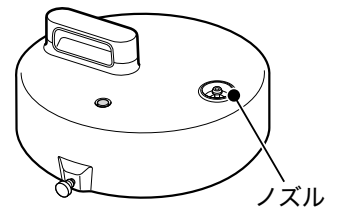


3

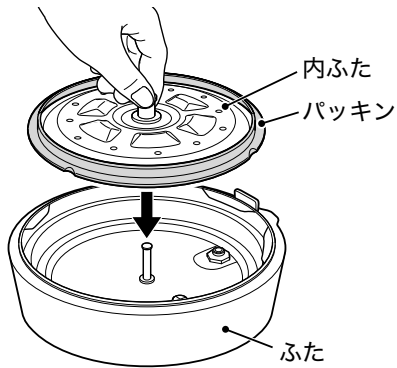
ふたが正しく組み立てられているか、次の点を確認する

● ノズルが目詰まりしていないこと

つまようじなどをノズルに差し込み、ノズルが詰まっていないことを確認してください。(蒸気や調理物の噴出によるけが・やけどを防ぐため)

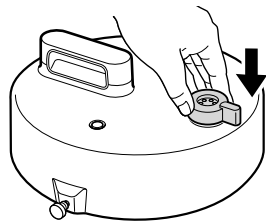


● 内ふたとパッキンがしっかりと取り付けられていること



内ふたとパッキンのつけ忘れにご注意ください。
機器の内部に蒸気が入り込み、故障の原因になります。

● 圧力切替弁が、ふたにしっかりと取り付けられていること

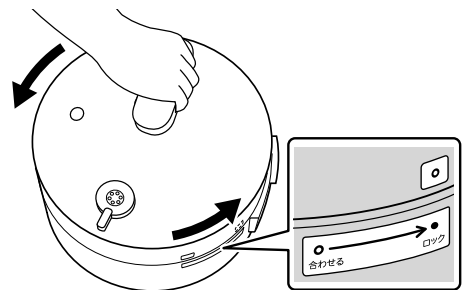


圧力切替弁のつけ忘れにご注意ください。
圧力切替弁をつけ忘れると、圧力がかからず蒸気が噴出し、故障・やけど・けがの原因になります。

4

ふたを閉める

● ふたの閉めかたについては、9ページの「ふたの開けかた、閉めかた」を参照してください。

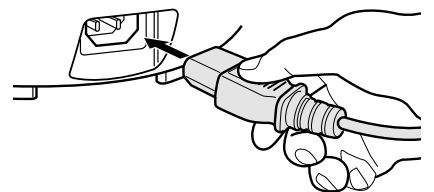


5

タイマーダイヤルが「切」になっていることを確認する

6

電源コードの本体側プラグを本体に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む



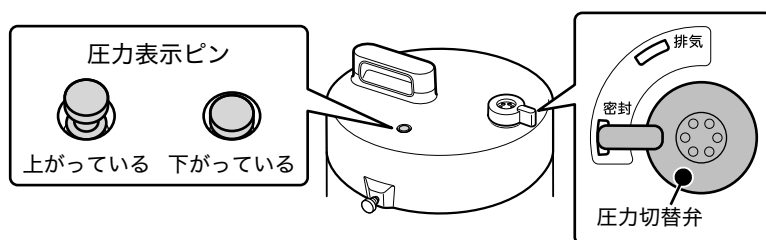
※ 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。

圧力調理のしかた

1 12 ページを参照し、調理の準備をする

- 安全のため、調理禁止の食材や、ふたの組み立てなど、必ずお守りください。

2 ふたを閉めたら、圧力切替弁を「密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認する

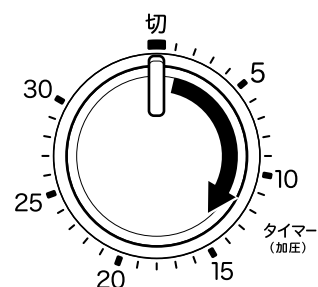


3 タイマーダイヤルを回して、加圧時間を設定する

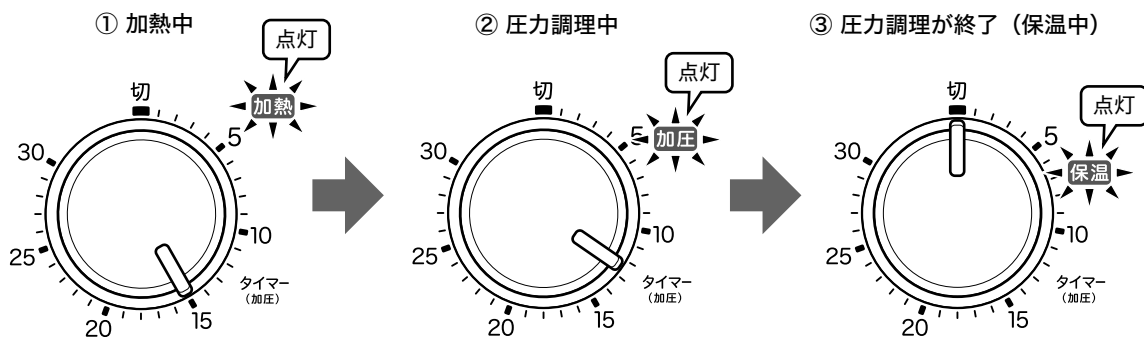
- 設定したい加圧時間の目盛に合わせて、タイマーダイヤルを回します。加熱ランプが点灯し、調理が開始します。

※ 加圧時間を 5 分未満に設定するときは、タイマーダイヤルを「5」の目盛以上回してから、合わせたい目盛まで戻してください。

- 加圧状態に達すると、圧力表示ピンが上がります。
(圧力表示ピンについては、11 ページを参照)



調理の工程について



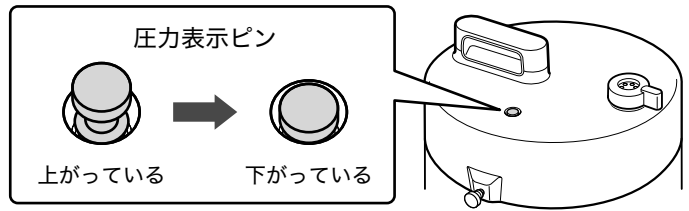
※ 圧力を一定に保つため、圧力調理中は、加熱と加圧を交互にくり返します。

※ タイマーダイヤルが「切」に向かって動き、圧力調理の残り時間が減っていきます。

4

タイマーダイヤルが「切」の位置に戻り、**保温** が点灯したら、**圧力表示ピン**が下がるまで待つ

- 圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5～30分です。
※ 調理内容によって、減圧時間は異なります。

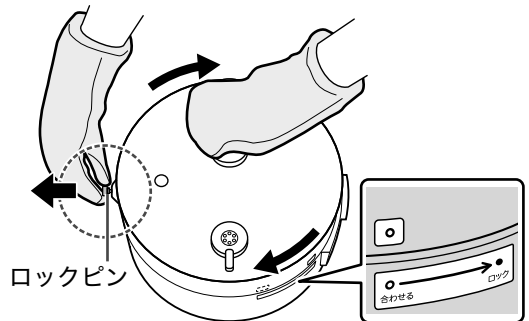


- ※ 調理後も内部の圧力は残っています。圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。
- ※ 調理中や調理の直後は、圧力切替弁には触れないでください。高温の蒸気が吹き出し、けが、やけどの原因になります。

5

圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開ける

- ① 調理後にふたを開ける場合は、必ずミトンをはめてください。
- ② ロックピンを引っ張りながら、時計回りに本体側面の●マークまで回します。



圧力調理のしかた



- ※ 本製品の保温には、内なべの温度を一定に保つための加熱機能は搭載されていません。調理物は自然冷却されますので、圧力表示ピンが下がったら、すぐに調理物を取り出してください。
- ※ ふたの高温部（ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン、内ふたなど）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、ミトンを使用してください。
- ※ ふたを開ける際は、少し回して、ふたのすき間から蒸気が出てこないことを確認してください。
- ※ ふたを開ける際、重く感じたら内部の圧力が下がっていない可能性があります。少し時間を置いてから開けてください。
- ※ 内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり、高温の蒸気や調理物が噴出したりして、けが、やけどの原因になります。

- ふたを開けたときに内なべがくっついてくる場合は、16ページを参照してください。

6

調理が終わったら、電源プラグをコンセントから抜く

調理後の保温について

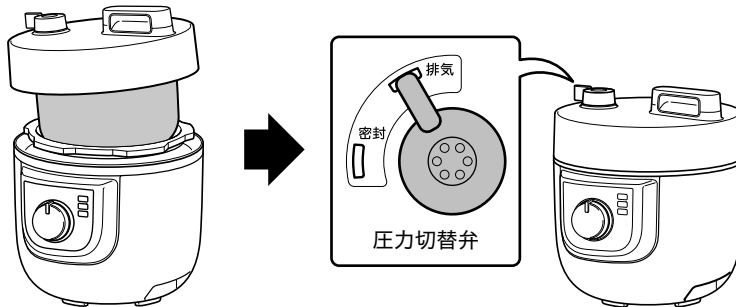
- 圧力調理が終わると保温ランプが点灯します。
本体の保温効果により、調理後しばらくは、調理物の余熱であたたかい状態を保ちます。
- 内なべの温度が60°C以下になると、保温ランプが消灯します。



- ※ 本製品の保温には、内なべの温度を一定に保つための加熱機能は搭載されていません。調理物は自然冷却されますので、圧力表示ピンが下がったら、すぐに調理物を取り出してください。
- ※ 調理物を内なべに入れたままで、長時間、本体内に放置しないでください。においや腐敗の原因になります。

ふたを開けるときに内なべがくっついて離れないときは

一度ふたを本体に戻し、圧力切替弁を「排気」に切り替えてから、再度ふたを開けてください。



- ※ 圧力表示ピンが上がっている状態では絶対に「排気」にしないでください。
- ※ 圧力切替弁から蒸気が出てくることがあるので、ミトンをはめてください。

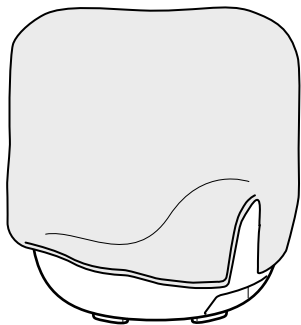
やむを得ず急いでふたを開けたいときは

急いでいる場合など、圧力表示ピンが自然に下がるのを待てない場合は、以下の方法で蒸気を抜いて減圧してください。



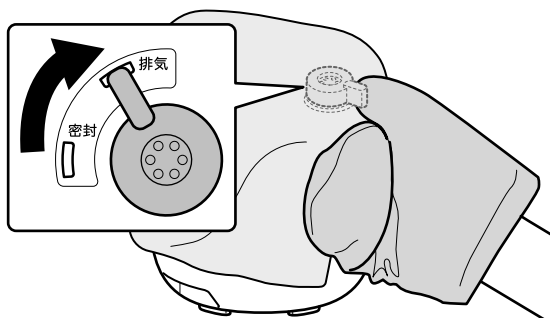
- ※ 調理中や調理終了直後の減圧は絶対にしないでください。
- ※ 蒸気は高温のため、取り扱いには十分注意してください。
- ※ 周囲に人やペットがいないことを必ず確認してください。

- ① 圧力調理が終了した後、保温ランプが点灯していることを確認し、5分以上待ちます。
- ② 圧力切替弁を含むふたの上に、ぬれふきんを厚めにかけます。
 - ※ 勢いよく蒸気が出て危険なので、必ず厚めのぬれふきんを使用してください。
 - ※ ふた全体をおおうように、ぬれふきんをかけてください。



※ ぬれたふきんに調理したものがかかるおそれがあります。

- ③ ミトンをはめて、ぬれふきんの上から、圧力切替弁を「排気」の位置にゆっくり動かします。
 - ※ 圧力切替弁のつまみの部分を、ミトンの先で押し動かします。
 - 圧力切替弁の真上から蒸気が吹き出すため、必ずつまみの部分を押ししてください。圧力切替弁の真上には触れないでください。



- ※ 圧力切替弁から蒸気が出はじめたら、すぐに手をはなしてください。排出される蒸気に注意してください。
 - ※ おかゆなど水分が多い料理の場合、調理したものが圧力表示ピンや圧力切替弁から噴出する場合があります。
- ④ 蒸気が出なくなったらぬれふきんを取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してからふたを開けます。
 - ※ ふたや圧力切替弁、ぬれふきんが熱くなっているため、やけどに注意してください。



- ※ 高温の蒸気が出てきますので、ぬれふきんとミトンを必ず使用してください。
- ※ 内ふたや調理物が熱くなっていますので、ふたを開ける際はやけどに注意してください。

お手入れ



- ※ 内なべや内ふた、パッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにしたり、圧力切替弁や圧力表示ピン、ノズルに異物が詰まっていると、けがややけど、故障の原因となりますので、使用後はしっかりとお手入れをしてください。
- ※ お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷まし、各パーツを取りはずしてから行ってください。調理後は、たまった煮汁が内ふたから出てくる場合がありますので、注意してください。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ※ シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- ※ 食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し、故障の原因になります。

お手入れする

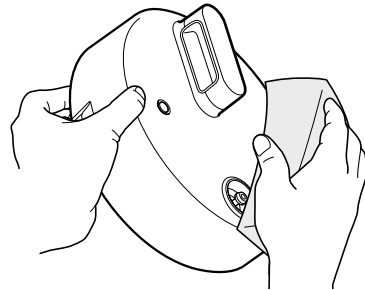
本体

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



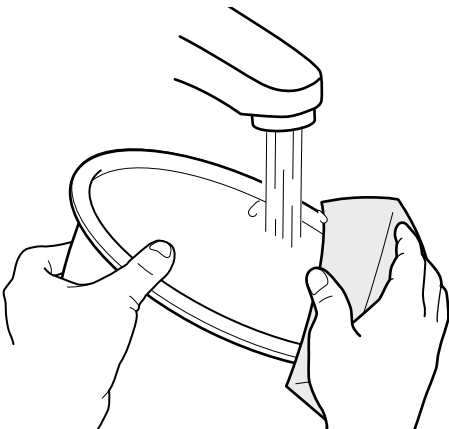
ふた本体

中性洗剤をつけたスポンジで全体を洗い、水で流します。
内ふたを取りはずして、ふた本体の内側も洗うことができます。



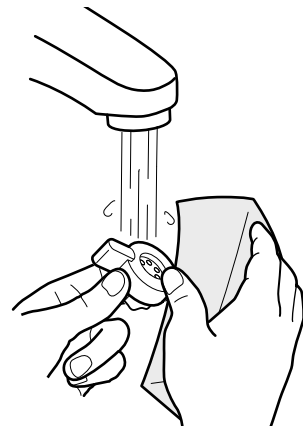
内なべ

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。
スポンジはやわらかいものを使用してください。



圧力切替弁

ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジでよく洗い、水で流します。

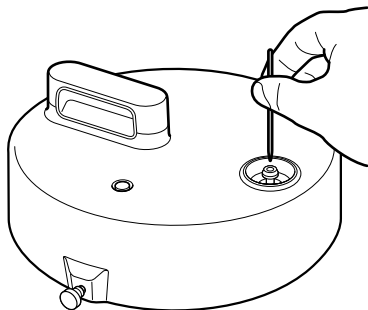


圧力表示ピン/ノズル

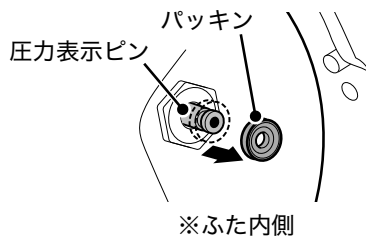
水を流し、食品かすなどの異物が詰まっていないか確認してください。

※ ふたの内側に水をためて、圧力表示ピンとノズルから水が出てくることを確認してください。圧力表示ピンは、ふたの内側からつまんで上下に動かし、水が出てくることを確認してください。

異物がある場合は、つまようじなどで除去してください。



圧力表示ピンは、パッキンを取りはずすことで、ふた本体から取りはずしてお手入れができます。お手入れ後は、ふた本体に圧力表示ピンとパッキンを必ず取りつけてください。

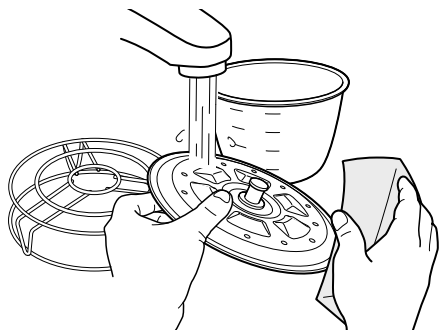


内ふた・付属品

中性洗剤とスポンジで洗い、乾いた布で拭いてください。

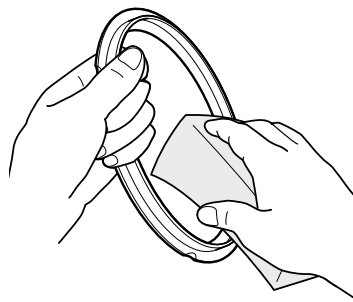
※ 強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用しないでください。傷や破損の原因となります。

※ 電子レンジ・オープン・オープンレンジ・食器乾燥機・食器洗い乾燥機では使用しないでください。



パッキン

パッキンを内ふたから取りはずし、中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。



パッキンのおいが気になる場合のお手入れ

- ① パッキンがひたるくらいの水をなべに入れて沸かします。
- ② 重曹（小さじ1）、酢（小さじ1）を溶かしたらパッキンを入れて、20分ほど煮沸してください。
※ 内ふたは入れないでください。変色の原因になります。



※ パッキンや内ふた、圧力切替弁などの部品は、お手入れ後の紛失や取り付け忘れを防ぐため、乾いたらすぐ、ふたに取りつけておくことをおすすめします。

お手入れ

長期間使用しない場合

各部のお手入れ後、よく乾かしてから、お買い上げ時のケースに入れるか、ポリ袋に包むなどして、湿気のない場所に保管してください。

※ 部品や付属品の紛失にご注意ください。紛失を防ぐため、部品は本体やふたに取りつけた状態で保管することをおすすめします。




故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
タイマーダイヤルを回しても調理が始まらない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 それでも改善しないときは、故障の可能性があります。電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
煮えていない。 煮え過ぎ。 水っぽい。	水量、設定時間を間違えていませんか。	付属のレシピブックを参照し、正しい水量、設定時間で調理してください。
	本体内部または内なべの外側に食品かすなど、異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	調味料が溶けずに残っていませんか。	調味料は、あらかじめ混ぜ合わせてください。
	材料が大きすぎませんか。	加圧時間を調整して、材料が煮えるまで圧力調理してください。
	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
焦げる。	圧力切替弁が「密封」の位置にセットされていますか。	圧力調理の際は、圧力切替弁を「密封」にセットしてください。「排気」にセットしていると、圧力がかからず調理ができません。
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気や汁がもれる。	ふた本体に内ふたが正しく取り付けられていますか。	内ふたを正しく取り付けてください。
	内ふたのパッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取り付けてください。
	ふたやパッキン、圧力切替弁に食品かすなどの異物が付着していませんか。	異物を取り除いてください。
	本体・内なべ・ふたにへこみや傷、パッキンや圧力切替弁に傷はありませんか。	タイマーダイヤルを「切」の位置に戻し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはサポートセンターへご連絡ください。
	内ふたのパッキンがガタついていませんか。	内ふたのパッキンの劣化により、蒸気もれが起こる場合があります。 パッキンは消耗品です。6カ月～1年のご使用を目安に交換してください。パッキンのガタつきは交換のサインです。 ※ 交換用のパッキンは、お買い上げの販売店またはサポートストアでお買い求めください。
調理中、タイマーダイヤルが動かない。 (残りの加圧時間が変化しない)	加熱ランプが点灯していませんか。	加熱ランプが点灯中は、タイマーダイヤルは動きません。加熱ランプが点灯するとタイマーダイヤルが動き、圧力調理の残り時間が減っていきます。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
ふたを閉めた後や圧力調理中、ふたと本体の間にすき間ができる。	ふたの開け閉めの際に、ふたと本体が接触しないよう、すき間ができる設計になっています。ふたと本体のすき間から、蒸気のもれや噴出が起これなければ異常ではありません。	
ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気が噴出する。	ふたは確実に閉まっていますか。	ふたを確実に閉めてください。
	材料の量または水量が多すぎませんか。	内なべの「調理 MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。 豆腐や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類 MAX」の線以上に、水や食材を入れしないでください。
	圧力表示ピンのパッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取りつけてください。
	圧力切替弁を外していませんか。	大変危険なので、使用中に、絶対に圧力切替弁を外さないでください。
	ふたのすき間や圧力切替弁から蒸気が強く噴出し続ける。(5分以上)	ふたを正しく組み立ててセットしていますか。 圧力調理中、圧力切替弁を「密封」の位置にしていますか。

こんなとき	対処のしかた
使用中に停電した場合。	復電した後は、運転を中止した状態（スタンバイモード）になります。圧力調理中に停電した場合、圧力表示ピンが上がっている間は、ふたを無理に開けたり、本体を移動させたりしないでください。蒸気や調理物が噴出し、けが、やけどの原因になります。

 ※ ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、タイマーダイヤルを「切」の位置に戻して調理を中止し、電源プラグを抜いてください。圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けてください。

故障かなと思ったら

仕様

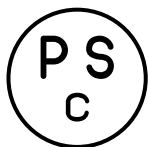
品名 (型番)	電気圧力鍋 (SP-A111)
外形寸法 (約)	幅 22× 奥行 26.9× 高さ 24.9cm
電源	交流 100V 50/60Hz
消費電力	700W
調理容量	1.3L
呼び容量 (満水容量)	2L
使用最高圧力	70kPa ゲージ圧

質量 (約)	2.7kg
電源コードの 長さ (約)	1.2m
温度ヒューズ	157°C
安全装置	温度過昇防止装置
付属品	計量カップ、蒸し台、内ふた用パッキン (予備)、レシピブック
原産国	中国



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

PSCマーク・SGマーク取得



PSC マーク

「消費生活用製品安全法」の家庭用の圧力なべ及び圧力がまの安全基準に適合していることを示します。



対人賠償責任保険付
製品安全協会

SG マーク

SG マーク制度は、家庭用の圧力なべ又は圧力がまの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店、または、弊社サポートストアでお買い求めください。

● プラスチック部品やパッキン類はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。「※」がついている部品は定期的に確認し、傷みがひどい場合は新しいものと交換してください (有料)。

品名	部品コード
計量カップ	SPC-101-KC
蒸し台	SPC-101-MD
パッキン (内ふた用) (※)	SPC-101-PC
内ふた	SPC-101-UF

品名	部品コード
内なべ (※)	SPC-101-UN
圧力切替弁	SP-D131-AB
電源コード	SPC-101-DC
レシピブック	SP-A111-RB

長年ご使用の電気圧力鍋の 点検を!

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社 (以下「弊社」) は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間


この電気圧力鍋の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈シロカサポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間：10:00～17:00（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
インターネットでのお問い合わせ：ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、シロカサポートストアからもご注文いただけます。

〈シロカサポートストア〉 <https://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp